

## 「愛の血液助け合い運動」月間 (7/1～7/31) に因んで

沖縄県赤十字血液センター 所長 屋良 勲



### はじめに

厚生労働省、都道府県、日本赤十字社主催、全国の医療関係団体、報道機関、自治体等の後援による「愛の血液助け合い運動」が、今年も盛大に開催される。その目的は、すべての血液製剤を国民の献血によって安定的に確保する体制を早期に確立するため、広く国民の間に献血に関する理解と協力を求めるとともに、特に継続的な推進が必要な成分献血・400mL献血への協力と血液製剤の適正使用への協力を求め、献血運動の一層の推進を図ることである。この期間中には、第44回献血運動推進全国大会が、栃木県宇都宮市にて開催され、日本赤十字社名誉副総裁のご臨席のもと、昭和天皇記念献血推進賞及び昭和天皇記念学術賞授与が行われるなど全国規模での献血運動である。「献血運動を国民運動に」の取り組みで進めている。

### キャンペーン期間中の活動内容

平成20年度の運動期間中には、各種のイベントが予定されている。7月1日には月間行事も合わせて、地元2紙に県知事メッセージが掲載される。その他街頭でのキャンペーン、パネル展示会、街頭献血、マスメディアによる広報活動などがある。市町村献血キャラバンは、ミス沖縄を伴い、県職員と赤十字職員が、数台の自動車を連ねて、各市町村を訪ね、市町村長始め職員の出迎えのもと、県知事の献血協力のメッセージを、直接伝達する厳かな、それでいて和やかな儀式である。平成19年度は、伊江島を含む北部地区を巡回した。(写真はその時の様子である。)献血の重要性について体験談を話してくれる方もいた。平成20年度は、南部



地区の市町村へ献血キャラバン隊を派遣する予定である。

### 沖縄県の血液事業の現況

沖縄県赤十字血液センターで取り扱った平成19年度の献血者実人数は5万5,405人で、前年度比106.2%増である。特に血小板製剤は113.5%増であった。献血不適合者の中には、献血基準に合致しない服薬者(降圧剤2種類以上、抗生剤服用等)、3日以内に歯科治療を受けた者、風邪気味、睡眠時間が短く体調不良を訴えるもの、肝機能障害疑いの者、女子に多い比重不足、体重50kg以内等が含まれる。供給本数は20万1,243本で前年度比113.6%増である。特筆すべきは、沖縄県の血液供給量が漸増していることである(図1)。心臓手術の技術の向上、血液疾患に対する積極的、高度の治療、透析、血漿交換等血液の需要が増加していると思われる。安定的な供給をするため、血液センターとしても、増車や新しい献血団体の開発等努力をしているが、不足分は九州ブロックから需給調整して送付してもらっている。沖縄

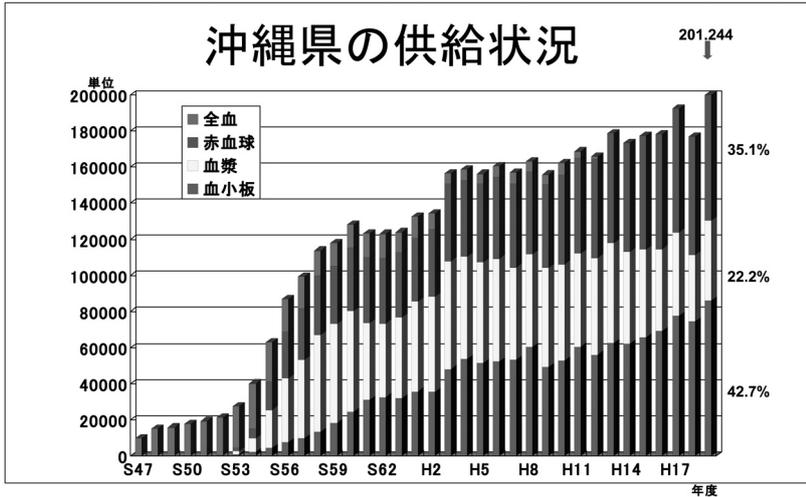


図1

県の血液製剤の3日間の適正備蓄量は700単位(400mLに換算すると350人分)であるが、毎日報告される在庫バランス表およびグラフ、月間の需給調整グラフを見て、一喜一憂しているところであり、血液製剤の適正使用をお願いするところである。自己血輸血については減少の傾向であったが、最近その重要性和有用性が見直され、各施設においての取り組みが、第12回自己血輸血学会の主催する教育セミナー(平成20年5月10日、沖縄県にて開催)で発表された。参加人数は147名で、全国でもトップの参加者で、自己血輸血に対する関心の高さが伺われた。施設の整備と看護師の認定制度について討論された。

**沖縄県赤十字血液センターの活動**

平成20年度の献血予定者は5万7千人、献血量は約22万4千リットルである。供給量の

増加に伴い毎年献血目標を上乗せしている。久茂地献血ルームは年2回の休診で、移動採血車は年675回出動の予定である。宮古、八重山には5月と10月に1ヶ月ずつ献血車を搬送して採血している。島嶼県の沖縄では、台風時、夜間緊急時が問題であるが、台風対策会議を開いて早めの措置を行い事なきを得ている。夜間緊急時には急患輸送システムに従い、血液のみを空輸している。今までに23回空輸した。中には2時間毎に緊急輸送

依頼のものや、4単位の赤血球製剤の輸送もあった。1回の空輸に自衛隊員14名が関与しており、その他の関係者を含めると、合計約20名になる。その他造血幹細胞移植時の採血のための技術提供、骨髄バンク登録、米海軍病院からの緊急血液供給や照射依頼に対しては、人道の問題ととらえ協力している。沖縄県の血液事業については、第56回日本輸血・細胞治療学会の教育講演で発表した。

**おわりに**

10代、20代の若年者層の献血の減少および献血率の減少、血液需要の伸長に対する対策が重要である。400ml献血(沖縄県は98%で高率)、成分献血、複数回献血を呼びかけている。主治医には輸血を受ける患者様の家族に血液の重要性和献血への協力を呼びかけて頂きたい。献血運動が国民運動となることを願っています。

**原稿募集!**

**プライマリ・ケアコーナー(2,500字程度)**

当コーナーでは病診連携、診診連携等に資するため、発熱、下痢、嘔吐の症状等、ミニレクチャー的な内容で他科の先生方にも分かり易い原稿をご執筆いただいております。

奮ってご投稿下さい。